



NILZZ

RACING FACTORY

FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

SUPER GT SERIES 2020 ROUND.4 RACE REPORT

カテゴリ	: SUPER GT SERIES 2020 GT300 クラス	公式練習	: 1' 51.935 (GT300 クラス 29 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1' 56.200 (GT300 クラス 20 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーブフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 21 位 (59 周)
ドライバー	: 田中優暉・飯田太陽		
開催地	: ツインリンクもてぎ (栃木県)		
開催日	: 2020.9.12~2020.9.13		
天候	: 曇り (9.12) 曇り (9.13)		
イベント動員数	: 無観客		

FUE 植毛
セゾー 銀座

アーツ銀座
クリニック

inoki

TONE

LEGAL FRONTIER

Assure Dream
ESTATE

Growrance

YELL

CENTURY 21
ハウスプロ

ENDLESS

YOKOHAMA

RAVS

Arai
HELMETS

KTEL

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

POWER STATION

CKK

NH NOBUEI HANAI



2020年SUPER GTシリーズ第4戦『FUJIMAKI GROUPE MOTEGI GT 300km RACE』が9月12日(土)~13日(日)に栃木県のツインリンクもてぎで開催され、NILZZ Racing はこれまでと同様、田中優暉と飯田太陽のドライバーを擁して参戦した。

今季初の開催となるツインリンクもてぎ。スケジュール変更により、ツインリンクもてぎでのレースは2回開催され、そのうちの1戦が今回の300kmレースとなる。昨年まではシリーズ最終戦に組み込まれ、250kmレースで争われていたが、今回は9月開催、そして300kmと少し長くなったレース距離ということで、今までのレースとは全く違った展開になると見られている。

NILZZ Racing はホームコースであることの利を生かし、上位入賞を目指すべく今回のレースに臨んだ。

9月12日(土) 公式練習

10時00分に開始された公式練習は開始10分を過ぎたところで雨が降り出した。

しかし雨は長く続かず、セッション中盤以降、コースは徐々に乾き出し、コンディションは回復していった。

NILZZ Racing は田中と飯田が積極的に走行を重ね、タイヤやブレーキの確認を主に、決勝レースを見越した走行プログラムを消化。計30周を計測、1分51秒935をマークしGT300クラス29位で練習走行を終えた。

9月12日(土) 予選

これまで同様、予選Q1セッションはA/Bグループに分けて行われ、NILZZ Racing は前戦までの結果により今回はBグループに割り振られた。

14時30分に開始されたAグループ予選でウェット宣言が出されるも、路面はほぼドライコンディションという状況。そして14時48分、Bグループ予選が開始となるが、その直前にコース上に霧雨が降り始めた。



アーツ銀座
クリニック

inoki



Growrance

CENTURY 21
ハウスプロ

ENDLESS

YOKOHAMA

RAYS



KTEL

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing



CKK

NI NOUGEI HANAI



TONE

LEGAL FRONTIER





B グループ予選は開始直後にコースアウト車両の撤去のため赤旗が提示されセッションが中断。

霧雨はこの間も降り続け、路面は更に滑りやすい状況となった。

NILZZ Racing とアタックドライバーの田中はコース状況からウエットタイヤでのアタックを決定。

セッション再開直後にウエットタイヤに履き替えてコースイン。ウォームアップを終えた田中はアタックを開始。

1分56秒200をマークし、セッションの残り時間が1分を切るまで予選Q2進出ラインの8位につける。

今季初の予選Q2進出が期待されたが、セッション終盤には雨は上がり、ライバル勢のタイムアップによって10位に後退。

予選Q2進出は果たせなかったが、その後の予選Q2の結果によりNILZZ RacingはGT300クラス20位と今季予選ベストリザルトを更新した。

9月13日(日) 決勝

13時03分にスタートした第4戦決勝レースは曇り空の下、ドライコンディションで開始された。

スタートドライバーを務めた田中はオープニングラップから快調に周回を重ねていく。

GT500/GT300が入り乱れるコース上は8周目、V字コーナーで起きたアクシデントによりセーフティーカー(SC)が導入された。

SCが解除された後、タイヤのグリップダウンに悩まされながらも田中は自身のスティントを走り切り、30周を走行したところでピットインを行い飯田に交代。

41周目に落下物撤去の為、この日2度目となるSCが導入された。

48周目にレースは再開。残り周回はこの時点で約12~13周であり、SC運用で前後ギャップが詰まったこともあって終盤はスプリントレースさながらのレース展開となった。

FUE 植毛
セブシー 銀座

HSJ Frontier

アーツ銀座
クリニック

inoki

TONE

LEGAL FRONTIER

Assure Dream
ESTATE

Growrance

YELL

CENTURY 21
ハウスプロ

ENDLESS

YOKOHAMA

RAYS

Arai
HELMET

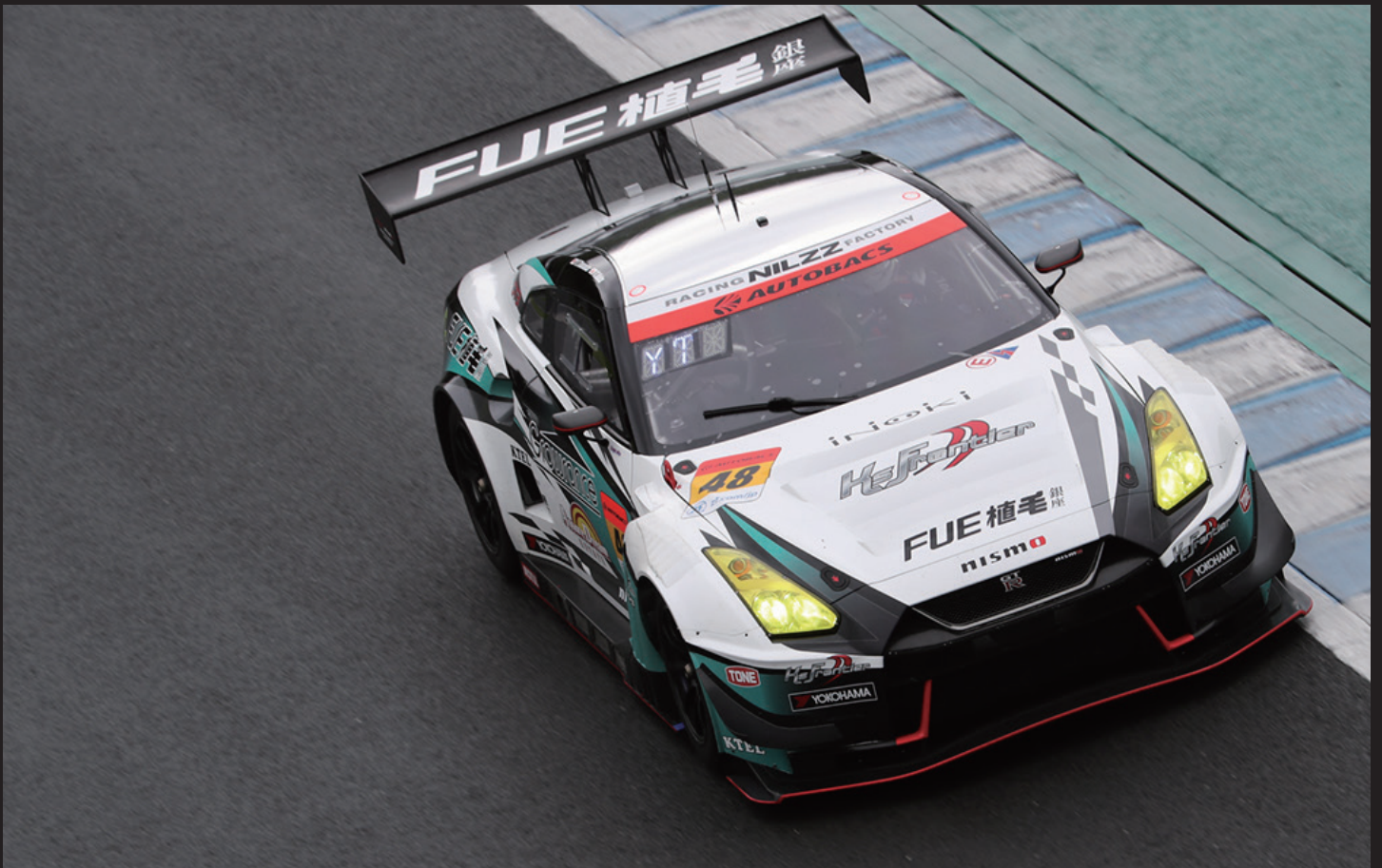
KTEL

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

POWER STATION

CKK

NI NOUGEI HANAI



飯田は残り周回を全てフルプッシュで走行、順位を入れ替えながら残り僅かの周回を重ねた。僅かなミスが大きく順位を落としてしまうような緊張感あふれる状況であったが、飯田はNILZZ Racing48号車をチェッカーまで導き、GT300クラス21位で第4戦をフィニッシュ。前戦に続きチームポイントを3点加算することに成功した。

7月末の開幕から早くも4戦を経過し、次戦10月3日(土)から4日(日)に富士スピードウェイで開催される第5戦から、2020年のSUPER GTシリーズは後半戦へと突入します。

これまでコロナウイルスへの対策により無観客で行われてきましたが、次の富士大会からは入場制限はありますが、有観客での開催となり、ようやく皆様がサーキットにきていただけるようになることを嬉しく思います。

更に上位を目指し、激戦のシリーズを戦い続けるために、引き続き皆様のご支援とご声援を賜ります様、宜しくお願い致します。

FUE 植毛
セゾグループ 銀座

H2 Frontier

アーツ銀座
クリニック

inoki

TONE

LEGAL FRONTIER

Assure Dream
ESTATE

Growrance

YELL

CENTURY 21
ハウスプロ

ENDLESS

YOKOHAMA

RAYS

Arai
HELMET

KTEL

NISSAN **nismo**
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

POWER STATION

CKK

NI NOUGEI HANAI